

30 日 獣 発 第 176 号

平成 30 年 9 月 26 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

岐阜県における豚コレラの患畜の確認に伴う監視体制の強化について

このことについて、平成 30 年 9 月 9 日付け 30 消安第 3033 号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は岐阜県の養豚場で豚コレラが発生したことを踏まえ、生産者等に対する家畜防疫員による防疫対策の立入検査実施と、確認・指導の再徹底を、都道府県知事宛て呼びかけた旨、通知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

本件内容の問合せ先

公益社団法人

日本獣医師会：事業担当 福田

TEL 03-3475-1601



30 消安第 3033 号
平成 30 年 9 月 9 日

公益社団法人 日本獣医師会会長 殿

農林水産省消費・安全局長



岐阜県における豚コレラの患畜の確認に伴う監視体制の強化について

このことについて、別添のとおり都道府県知事宛て通知しましたので、御了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いします。

また、貴職におかれましては、家畜防疫の重要性を十分御理解の上、傘下会員各位等に対し周知されますとともに、適切な対応がなされるよう御指導方よろしくお願いします。



写

30 消安第 3033 号
平成 30 年 9 月 9 日

都道府県知事 殿

農林水産省消費・安全局長

岐阜県における豚コレラの患畜の確認に伴う防疫対策の再徹底について

9月7日、岐阜県の養豚場から、飼養豚において死亡豚が増加している旨、岐阜県に届出があり、翌9月8日、岐阜県における病性鑑定及び農研機構農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門で実施した遺伝子解析においても豚コレラウイルス特有の抗原が確認されたことから、「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針」(平成25年6月26日農林水産大臣公表。以下「防疫指針」という。)第5の2の(1)の②の規定により、豚コレラの患畜と判定しました。

つきましては、貴都道府県内における生産者、畜産関係機関、関係団体及び外国人研修生の窓口となる団体等に対して、本件を周知するとともに、消毒による人・車両等を介したウイルスの侵入防止対策、飼養豚の毎日の健康観察による異常豚の早期発見・早期通報、肉及びに肉製品を含み又は含む可能性のある食品残さの適正使用や野生動物との接触防止等の飼養衛生管理基準の遵守の徹底について、可能な限り家畜防疫員が現地へ立入検査を実施し、確認・指導を再徹底するようお願いいたします。

さらに、防疫指針第4の1に規定する豚の飼養者からの異常豚の発見の通報を受けた場合には、万が一の際の防疫対応に係る準備・調整を円滑に行うため、その情報を直ちに当局動物衛生課に報告するなど、迅速かつ的確に初動対応を実施するようお願いいたします。